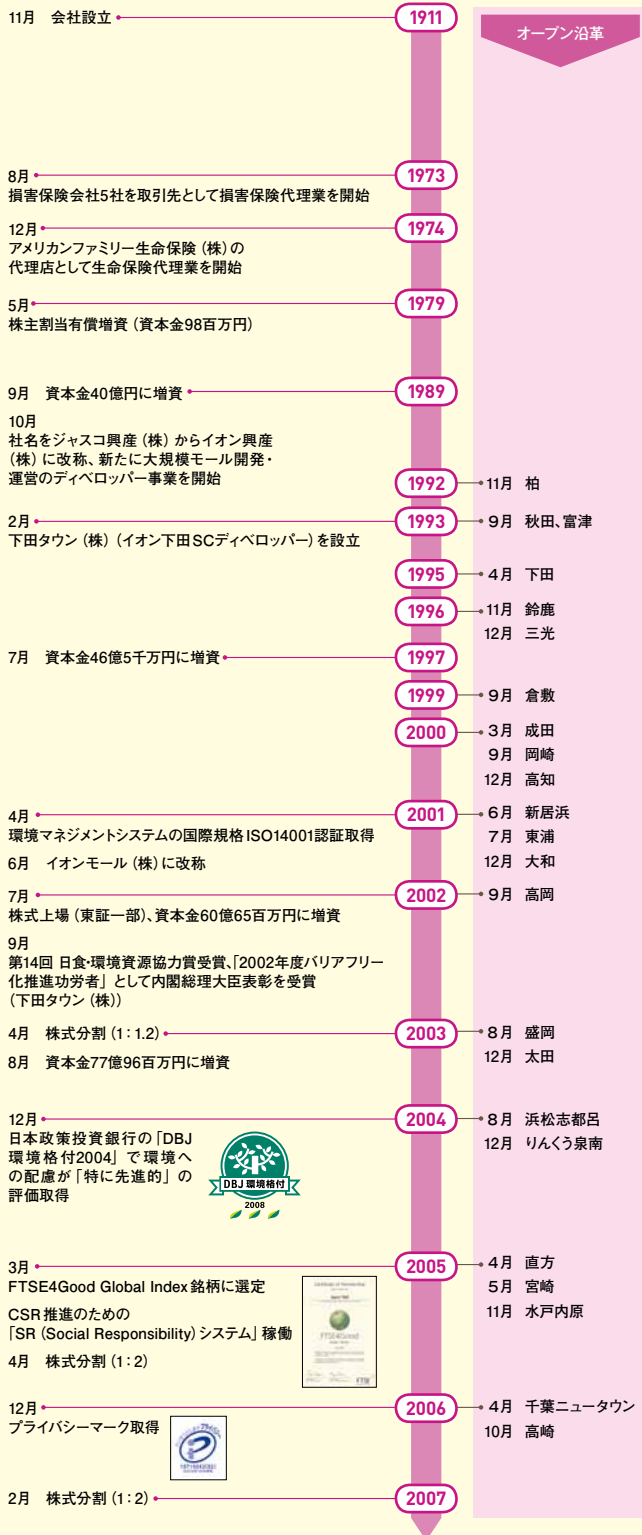
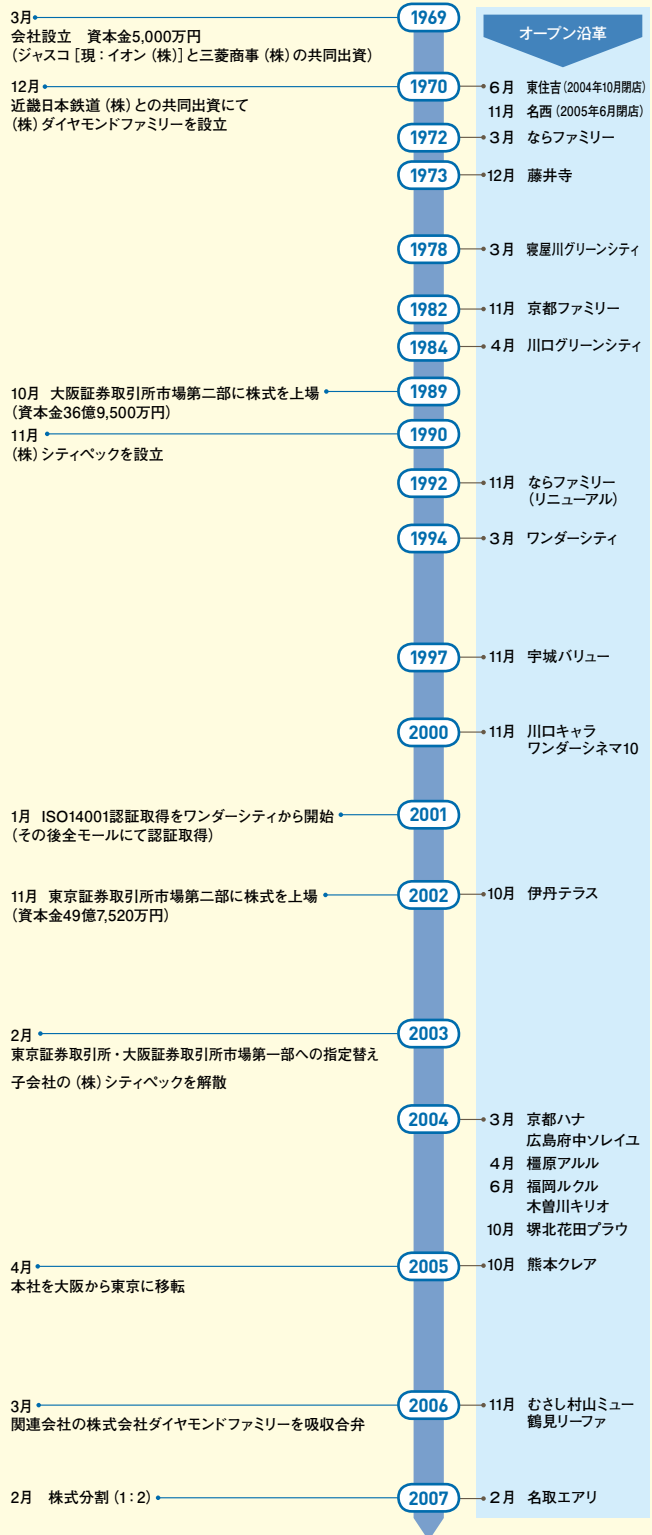


イオンモールの沿革

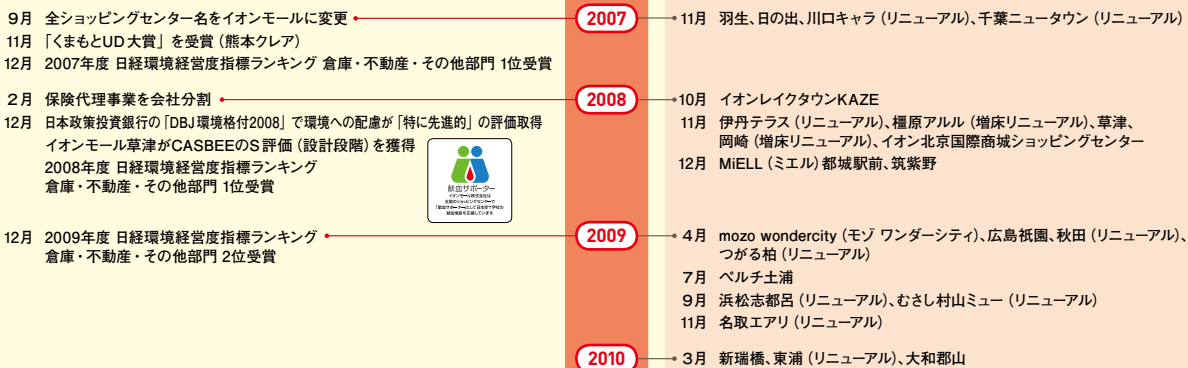
イオンモールの沿革



旧ダイヤモンドシティの沿革



2007 8月 合併



2009年度 SR 会計報告

イオンモールでは、2002年度よりSR (Social Responsibility = 社会的責任) 会計を導入し、環境保全活動や社会貢献活動のコストを定量的に把握し、CSR経営における指標のひとつとしてきました。

2009年度については、PM物件であるmozoワンダーシティ、ペルチ土浦を除いて、新規に開店したモールはイオンモール広島祇園の1モールでしたが、新規4モール、大型増

床3モールを開店した2008年度とほぼ同額である63億8596万円を計上しました。特に太陽光発電設備については、2008年度は2億7477万円の投資でしたが、2009年度には既存店への積極的な投資により、前年の2.5倍を超える7億3012万円を計上しました。

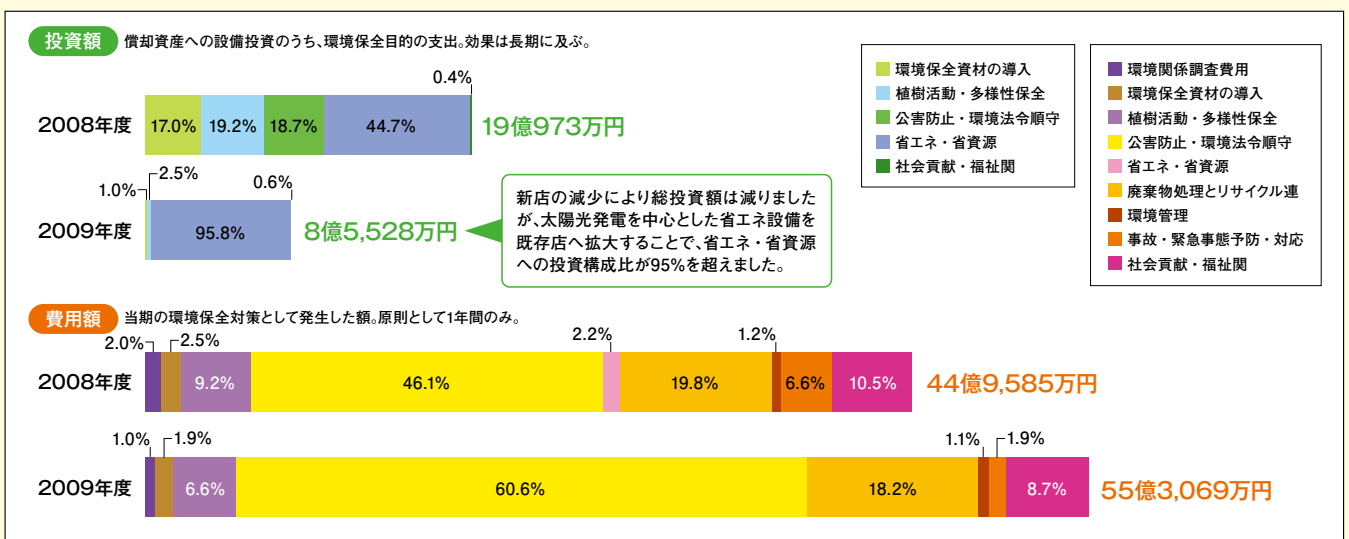
また、省エネおよび環境負荷低減のための設備メンテナンスを含めた設備運転管理の徹

底と、空気環境測定を確実に実施するなど公害防止・環境法令順守にかかわる項目への投資が昨年よりも9億2264万円増加し、33億5223万円計上しました。

今後は既存店の活性化を積極的に行っていく方針であり、同時にCO₂削減効果の高い空調設備の効率化を目的に投資計画を策定しています。

環境保全コストの主な内訳

	投資			費用			(単位: 千円)
	2008年度	2009年度	前年比	2008年度	2009年度	前年比	
環境関係調査費用	0	0	—	90,536	53,145	58.7%	大店立地法届けのための調査、交通量調査、環境影響評価等
環境保全資材の導入	324,232	8,324	2.6%	110,435	103,628	93.8%	リサイクル建築資材、エコ消火器、再生OA用紙等
植樹活動・多様性保全	366,820	21,779	5.9%	414,445	367,495	88.7%	植樹祭、育樹祭、屋上・壁面緑化、植栽管理等
公害防止・環境法令順守	357,000	0	0.0%	2,072,588	3,352,228	161.7%	大気汚染防止、水質汚濁防止、施設メンテナンス等
省エネ・省資源	854,044	819,747	96.0%	98,794	232	0.2%	太陽光発電、LEDサイン、ハイブリッドカー導入等
自然エネルギー	274,770	730,118	265.7%	—	—	—	太陽光発電など
廃棄物処理とリサイクル	0	0	—	887,968	1,007,572	113.5%	廃棄物処理・管理費用
環境管理	0	0	—	53,722	59,728	111.2%	ISO活動推進、教育、情報発信等
事故・緊急事態予防・対応	0	0	—	294,678	103,101	35.0%	地下タンク検査、消火器・警報機、新型インフルエンザ対策等
社会貢献・福祉関連	7,633	5,429	71.1%	472,685	483,555	102.3%	身障者駐車場、AED設置、イオン1%クラブ拠出金等
計	1,909,729	855,278	44.8%	4,495,851	5,530,685	123.0%	



期間: 2009年2月21日~2010年2月20日

対象: イオンモール(株) ISO14001適用範囲内とする

- ① 複合コスト………環境目的以外のコストと結合している場合についても、原則として全額計上しています。
- ② 人件費………「モール施設メンテナンス」「モールでの廃棄物処理とリサイクル」は人件費を計上しています。
- ③ 減価償却費………減価償却費は計上していません。



第三者意見

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

代表 川北 秀人氏

IIHOE

「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。
<http://blog.canpan.info/iiohoe/> (日本語のみ)

当意見は、本報告書の記載内容、および同社の環境・開発・人事・ニュービジネスの各担当役員へのヒアリング、およびイオンモール橿原アルルとイオンレイクタウンKAZEでの視察に基づいて執筆しています。

同社のCSRへの取り組みは、施設的设计段階における環境やユニバーサル・デザインへの対応や、取引先であるテナントも実践する環境負荷の削減を中心に、他社のモデルとなる水準にあり、今後は、全社横断的なマネジメント・システムへと進化することが強く期待されます。

高く評価すべき点

- 「思いやり駐車場」や店内表示まで総合的なユニバーサル・デザイン (P16-17) と、自然エネルギー導入やグラスパーキング、廃食油回収まで踏み込んだ環境負荷削減 (P24-30) を、設計から運用まで比類ない高い水準で実践していること。中でも、イオンレイクタウンKAZEの表示と、イオンモール草津のCASBEE [S] ランク評価取得 (P27) は、特筆すべき実績です。
- 地域での災害時や、お祭りなど文化活動への協力や施設提供を、積極的に行っていること (P16)。

取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

- 空調の最適化や廃棄物の削減・再資源化など、各店における工夫と努力が日常的に積み重ねられていることを高く評価しつつ、今後は、そのノウハウが記録されるとともに、小集団活動や表彰制度などによって他店とも共有されるなど、全社横断的なマネジメント・システムへと拡充されることを、強く期待します。
- 廃棄物の17品目分別 (P30)、接客技能の向上や地域清掃 (P23) などへのテナントの参加・協力を引き出す働きかけ、特に全テナント従業員を対象とした『えこのおと』を利用した研修を高く評価しつつ、今後は、テナントによるCO₂や廃棄物などの環境負荷削減の工夫や努力を全国的に表彰・共有する制度を設けるなど、さらに主体的な取り組みが加速され、その結果が本報告書や『えこのおと』で紹介されることを、強く期待します。
- 従業員の家族の介護を支援するために転居を伴う異動を停止する制度や、夏・冬の長期休日の取得の積極的な促進など、ワーク・ライフ・バランスの改善への取り組み (P21) を評価しつつ、今後の社会・市場の変化を視野に入れば、女性や非日本人の上級管理職が大幅に増えることと、その実現に向けた育成・支援施策がさらに加速することを期待します。

川北 秀人氏

川北氏には、イオンモール橿原アルルやイオンレイクタウンKAZEを視察いただきました

